

2022年9月28日

関係者各位

積水メディカル株式会社

創薬支援センター実験棟における放射性物質を含む廃水の漏えいについて(第2報)

弊社の創薬支援センターにおいて、管理区域外から微量の放射能が検出されましたので、下記のとおりお知らせいたします。本件については直ちに原子力規制庁への報告を行っており、これによる人体および環境への影響はないと判断しております。

(ご参考)2022年8月8日 第1報リリース：

<https://www.sekisui-medical.jp/news/pdf/20220808.pdf>

近隣の皆様をはじめ関係者の皆様にはご心配をおかけしましたことを、改めて深くお詫び申し上げます。原子力規制庁、及び茨城県、東海村による立ち入り調査等に基づく現時点の対応状況をご報告申し上げます。

記

1. 発生日時

2022年8月5日15時24分(原子力規制庁により事象発生と決定)

2. 発生場所(再掲)

積水メディカル株式会社 創薬支援センター 第一実験棟の床下(管理区域外)  
茨城県那珂郡東海村村松 2117

3. 概要(再掲)

弊社では、築50年以上経つ第一実験棟の解体のため、放射性物質(以下「RI」)を除染後、管理区域から解除する解体計画を進めておりました。そのRI除染工程において、第一実験棟の床下を走るRI排水管(管理区域外)の破断・脱落箇所を確認しました。破断・脱落箇所付近の汚染検査の結果、脱落箇所付近の土壌から微量の放射能が検出されましたが、破断・脱落箇所とその周辺、敷地内、敷地境界、地下水の汚染検査を実施致しました結果、環境への影響はないと判断しております。

なお、第一実験棟は2020年3月以降使用していない施設で、現在、排水管は通水していない状態でした。

※配管の状態につきまして、「破断箇所(2箇所)」から「破断、脱落箇所」と改めております。

4. 人体及び環境への影響(再掲)

①人体への影響：

定期的に行っている弊社従業員の内部被ばく評価において、過去から現在まで有意者はいないこと、本事象発覚後に実施した担当作業員3名の内部被ばく評価においても検出限界値未満の値であったこと、また漏えい箇所上部での空間線量率も検出限界値未満の値であったことから、本事象による人体への影響はないと判断しております。

②環境への影響：

本事象発覚時の排気筒モニター値、事業所境界のモニタリング値に異常はございませんでした。また、汚染検査結果に加え、事業所近辺の井戸水放射能測定も実施したところ異常はなかったことから、本事象による環境への影響はないと判断しております。

5. 汚染・負傷者の有無

負傷者：なし

被曝：なし

6. 調査内容

以下の調査を、11月完了目標として計画しております。

1) 破断箇所A、脱落箇所Bの調査

①汚染の有無確認

破断箇所A：8月に自社による放射能測定にて、破断箇所直下及び切り離し部直下土壌に汚染がない事を確認致しました。規制庁、県、村へ汚染なしの旨報告済です。但し、追加で第三者機関による測定を予定しております。

脱落箇所B：微量の放射能を検出致しました。脱落箇所直下土壌汚染の広がりについて自社での測定と合わせ、第三者機関による測定を予定しております。

②配管使用期間の特定

調査中

③破断、脱落の時期と原因特定

調査中

2) 第一実験棟床下の配管確認

約90%の部分は破断等による汚染がないことを確認済みです。

障害物(コンクリート等)があり確認できなかった部分について調査を予定しております。

3) その他

①第三実験棟、第四実験棟及び排水施設の臨時自主点検を実施し、異常ない事を確認済です。

②周辺環境のモニタリングを第一実験棟解体まで継続致します。(3月解体完了予定)

引き続き原子力規制庁、及び茨城県、東海村をはじめ関係機関のご指導をいただきながら適切に対応をして参ります。

<本件問い合わせ先>

積水メディカル株式会社

経営企画部広報担当 : sekisui-medical-hp@sekisui.com

防災対策本部広報班 : 029-282-0232